



ミュージアム運営に関する収支を、みなさんはどれくらい知っているか。いや、そもそも知る機会が、極端に制限されている。それだけでなく、収支が公開されている公立ミュージアムでも、自治体ごとに記載項目が異なっていて、運営実態はわかりにくい。ブラックボックスのようなミュージアム財政を、明確にしていこうという研究が、財政学や経営学でいま進んでいる。それによって、どんな経営シナリオが描けるのか。その先で、財政状況を変えるどんな資金調達方法があるのか。

11月12日開催 プラス・ミュージアム・プログラム 公開シンポジウム

参加者
募集

ミュージアムの財政をとりまくブラックボックス

パネリストとコーディネータ

- パネリスト：後藤和子（摂南大学経済学部 教授）
平井宏典（和光大学経済経営学部 教授）
高井健司（地方独立行政法人大阪市博物館機構 事務局次長）
- コーディネータ：佐々木亨（北海道大学文学研究院 教授）
卓彦伶（北海道大学文学研究院 特任准教授）

開催日時と開催方式

- 開催日時：2022年11月12日（土）13:00～16:45
- 開催方式：対面もしくはオンライン（Zoom）
- 会場：札幌市北区北10条西7丁目 北海道大学人文・社会科学合教育研究棟 W202
- スケジュール：13:00～14:40 開会挨拶&パネリスト報告
14:40～15:00 休憩 15:00～16:45 シンポジウム

プログラム概要

「プラス・ミュージアム・プログラム」は、わたしたちを取り巻くさまざまな課題にミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学ぶ3年間のリカレント教育プログラムです。1回だけの参加、オンラインでの参加、遠方からの参加も歓迎します。

主催：北海道大学文学研究院 共催：北海道大学総合博物館 助成：文化庁「令和4年度大学における文化芸術推進事業」（事業名「ミュージアムにおける異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業」）



申し込み方法

- 事前のお申し込みが必要です。締め切りは11月11日（金）13時です。ご希望の方は <https://forms.gle/Si2KAIYwGEBZYVBV77> または緑色のQRコードより申し込みフォームへとお進みください。参加費は無料です。事前にレジュメを参加者に配布いたします。

- お問い合わせ：〒060-0810
札幌市北区北10条西7丁目北海道大学文学研究院
内「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局
Mail: plusm@let.hokudai.ac.jp TEL: 011-706-4053

